本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

方位・温度計測機能

1890 * J A

取扱説明書

1890 * J A

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に傷害を与えることは一切ありません。本機の特徴、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特徴

- 方位計測機能
- 温度計測機能
- ワールドタイム機能
- アラーム機能
- タイマー機能
- ストップウオッチ機能

本機の計測機能は、専門的な計測器としての用途を目的に製造されたものではありません。ご使用にあたっては、本機の特性をよく理解の上、あくまでも目安としてご使用ください。

※ 本機は家庭用機器の計量法に基づく計測器ではありません。

※ 本機の方位計を本格的な登山等でご使用になるときは、必ず予備のコンパスを携帯するようにしてください。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。	夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。
夜間、道路でマラソンやジョギングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。	オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

目　次

安全上のご注意

操作のしくみと表示の見方 …… 6

表示照明用 EL バックライトについて … 8
- ボタンを押して発光させる …… 8
- 時計を傾けて発光させる …… 8

方位計測の使い方 …… 10
- 方位計測のしかた …… 10
- 方位（温度）メモリーのしかた …… 11
- 計測上のご注意 …… 12
- 方位補正のしかた …… 14
- 方位計測機能の応用 …… 17
- より深く理解していただくために … 19
- おかしいと思ったときは …… 21

温度計測の使い方 …… 22
- 温度計測のしかた …… 22
- 温度調整のしかた …… 23

異常計測防止機能 …… 24

ワールドタイムの使い方 …… 25
- ワールドタイムモードでのサーチ … 25
- ワールドタイムの合わせ方 …… 26
- サマータイムの設定 …… 27
- ワールドタイム都市コード一覧 …… 28
- 月別平均気温一覧 …… 29

アラームの使い方 …… 30
- アラーム時刻のセットのしかた …… 30
- デモアラーム …… 31
- アラーム・時報のオン／オフ …… 32

ストップウオッチの使い方 …… 33
- 計測のしかた …… 33

タイマーの使い方 …… 34
- タイマー時間のセットのしかた …… 34
- 計測のしかた …… 35
- タイマー方法を選ぶ …… 35

時刻・カレンダーの合わせ方 …… 36
- 秒の合わせ方 …… 36
- 時刻・カレンダーの合わせ方 …… 37

製品仕様 …… 39

ご使用上の注意 …… 40

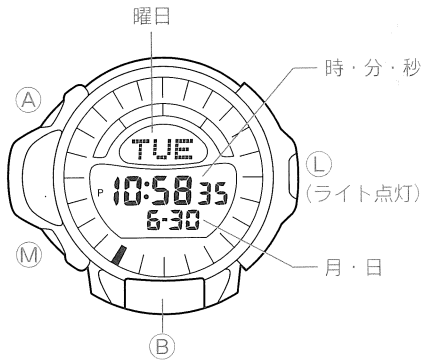
お手入れについて …… 42

電池交換について …… 42

操作のしくみと表示の見方　Ⓜ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。（確認音が鳴ります）

時刻モード

〈カレンダー表示〉



〈方位・温度表示〉



Ⓑ ⇄ Ⓜ

P-10

時刻モードでⒷボタンを押すと、方位と温度を計測して表示します。

Ⓜ

方位・温度計測モード



P-10

Ⓜ

ワールドタイムモード



P-25

Ⓜ

アラームモード



P-30

Ⓜ

ストップウオッチモード



P-33

Ⓜ

タイマーモード



P-34

Ⓜ

※表示内容や使い方については、各機能の項目をご覧ください。

※各モードでボタン操作をした後Ⓜボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる

～手動発光～

手動発光は、ワールドタイムモード以外のとき有効です。

Ⓛ ボタンを押します

Ⓛ ボタンを押すと約 2 秒間文字板が発光します。



※ 文字板発光中にⓁボタンを押すと、その時点から引き続き発光します。ただし、Ⓛボタンを 1 ～ 2 分押し続けるとその時点で発光がとまります。
※ オートライト OFF のときもⓁボタンを押すと発光します。

■時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻や方位、温度の計測値などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約 2 秒間発光します。

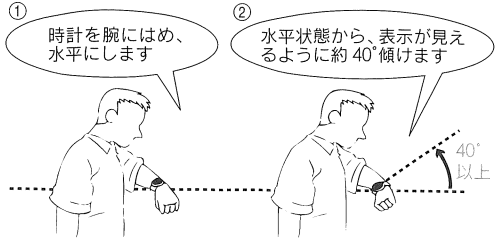
準備

時刻モードのときⓁボタンを 1 ～ 2 秒間押し続けて、オートライト ON にします。



※ オートライト ON のとき、Ⓛボタンを 1 ～ 2 秒間押し続けるとオートライト OFF に戻ります。
※ オートライト ON/OFF 設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。
※ 文字板の左右（3 時－ 9 時方向）の角度を ±15° 以内にしておいてください。15° 以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL 発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、ON にしてから約 **6 時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。
  ※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛボタンを 1 ～ 2 秒間押して ON にしてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（39 ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 2 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ず OFF にしておいてください。
  ※ 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

方位計測の使い方

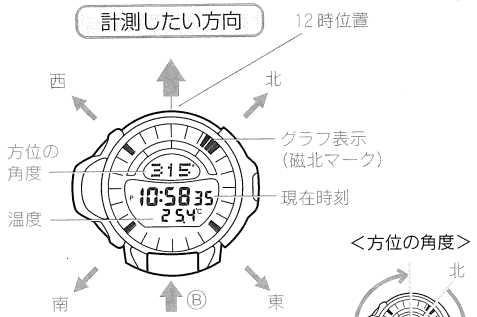
方位計測機能は内蔵の磁気センサーで検出した磁気を方位に変換して表示します。
※ 方位計測が正しくないと思われるときは、14ページを参照して、「方位補正」を行なってください。

■方位計測のしかた　～時刻モードまたは方位・温度計測モード～

本機を水平に持ち（または腕にはめ）、計測したい方向に12時位置を向けてから Ⓑ ボタンを押します。
約1秒後方位（角度）と温度を表示し、東西南北の方位をグラフ表示します。

例：12時位置が“北西”の場合

※ 表示例は時刻モードで計測。



<方位の角度>

方位の角度
表示範囲：0°～360°　表示単位：1°

グラフ表示
表示単位：6°

- 計測中に異常値を検出した場合は“ERR”もしくは“－－－”と表示されます。このときは、もう一度Ⓑボタンを押して計測をやり直してください。
- 計測した方位や温度をメモリーしたいときは、方位・温度計測モードで計測します。
- 方位計測中にアラームなどの電子音が鳴ったときは、計測を中止しますのでもう一度Ⓑボタンを押してください。

■方位（温度）メモリーのしかた　～方位・温度計測モード～

計測した方位と温度は計測時刻とともに最大5本分メモリーできます。

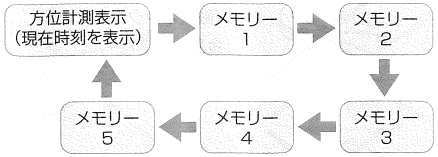
1　メモリー番号を選ぶ

方位・温度計測モードで

Ⓐ ボタンを押します

押すごとにメモリー番号（1～5）が以下の順に切り替わります。





2　計測し、メモリーする

メモリーしたい番号のときに

Ⓑ ボタンを押します

約1秒後、計測時刻とともに方位と温度がメモリーされます。



- 方位計測表示のときに計測したデータはメモリーされません。
- 同じメモリー番号を表示させているときに計測すると、古いデータが消去されて新しく計測したデータがメモリーされます。

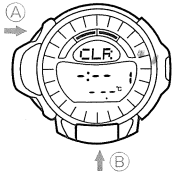
●メモリーしたデータを消去するには

1回の操作ですべてのメモリーが消去されます。

方位・温度計測モードで

Ⓐ・Ⓑ ボタンをいっしょに2秒間押します

“CLR”が点滅し、電子音が鳴ると消去されます。



※ “CLR”が点滅しているときにボタンを離すと、データは消去されません。

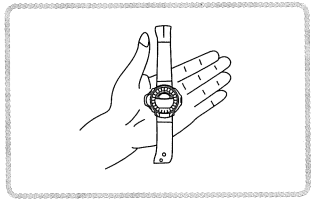
■計測上のご注意　～正しい計測のために～

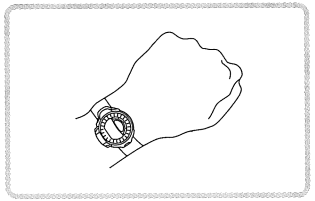
本機での方位の計測は、以下の点に注意して行なってください。

（1）計測するときは

本機が水平になるように持つか、または腕に付けてください。

※ 本機が水平面に対して傾いているときは、計測誤差が大きくなります。



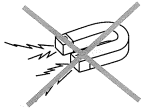


（2）使用場所について

計測を行なう場所により、計測誤差が大きくなる恐れがあります。
以下の場所での計測にはご注意ください。

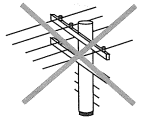
●地磁気に強く影響をおよぼす物の近く

➪ これらのものから離して計測を行なってください。

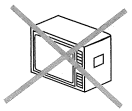


永久磁石
（磁気ネックレスなど）

金属
（鉄製の机、ロッカーなど）



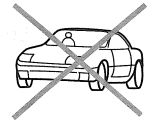
高圧線、架線



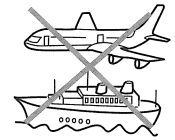
家庭電化製品
（テレビ、パソコン、スピーカーなど）

●乗り物の中、または室内（特に鉄筋コンクリート造り）

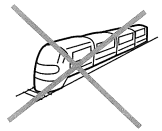
➪ この場合は正確な計測はできません。



自動車



船・飛行機



電車



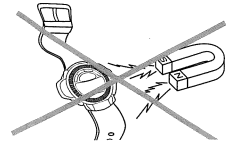
室内
（鉄筋が磁化している場合）

※ 自動車など方向が自由に変えられる乗り物については、「2点補正」することによりある程度方位を知ることができます。

（「2点補正」については15ページ、自動車内での使い方については20ページを参照してください。）

（3）保管場所について

本機を磁石などの強い磁気を帯びたものに近づけないでください。



永久磁石
（磁気ネックレス、バッグの止め金など）

家庭電化製品
（テレビ、スピーカーなど）

＜本機が磁気を帯びた場合は＞

本機そのものが磁気を帯びたとき（“着磁”または“帯磁”と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。
このようなときは、「2点補正」（15ページ参照）を行なうことにより、着磁（帯磁）の影響分を補正することができます。

- 着磁（帯磁）しているかどうかよくわからないときは、「2点補正」を行なってから計測してください。
- 著しく着磁（帯磁）したときは、「2点補正」を行なっても正しく方位が計測できなかったり、計測中に異常値の検出表示が頻繁におこることがあります。

■ 方位補正のしかた　～方位・温度計測モード～

本機で計測した方位が正しくないと思われるときは、以下の２種類の方法で方位補正をすることができます。

① ２点補正

本機を使用する際、その磁気環境に合わせた最適な状態に整える機能です。

例えば、本機を自動車内のような特殊な環境で使用するときや、本機そのものが着磁した恐れがあるようなときには、その影響を補正するために、最初に２点補正を行ないます。

② 北方位補正

正確な北の方向がわかっているとき、その方向に向けて北を合わせる機能 です。本機を偏差（偏角）を補正した“真北”に合わせて使用したいときに便利です。

※「２点補正」と「北方位補正」を続けて行なうときは、先に「２点補正」を行ない、次に「北方位補正」を行なってください。２点補正を行ないますと、前回の北方位補正は解除されます。

※ 方位補正状態（表示点滅中）のときに何もボタン操作をしませんと２～３分後自動的に点滅が止まり、方位計測表示に戻ります。

★ワンポイントアドバイス

「２点補正」は積極的に行なうほど、その都度正確な方位計測が行なわれます。使用する環境が変わったときはもちろん、本機をしばらく使用していなかったとき、計測方位がなんとなくおかしいと感じたときなどは「２点補正」を行なってから使用するようにしてください。

・２点補正は実際に方位計測を行なう場所で行なってください。
例えば、野外でご使用になるときは野外で、自動車内でご使用になるときは自動車内で行なってください。

・２点補正を行なう方向はどちらでも構いませんが、向きを変えるときは、なるべく正確に180度になるようにしてください。

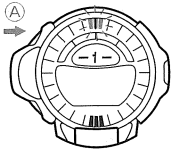
・自動車や船舶などの乗り物内で、２点補正を行なうときは、なるべく自動車（船舶）ごと180度向きを変えて行なう方がより正確に補正できます。

● ２点補正のしかた

1　方位補正状態にする

方位・温度計測モードで

Ⓐボタンを約１秒間押します

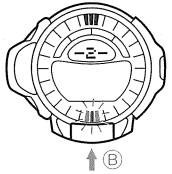


「２点補正状態」となり、“－１－”が 点灯します。

2　１点目の方位計測をする

本機を水平に置き

Ⓑボタンを押します



計測が正しく行なわれると“OK”と表示し、２点目の方位計測表示（“－２－”表示）になります。

※ 計測中は、本機を動かさないようにしてください。
※ “ERR”と表示されるときは、計測場所を変えて、もう一度Ⓑボタンを押してください。

3　２点目の方位計測をする

本機を180度回転させて、

Ⓑボタンを押します



計測が正しく行なわれると“OK”と表示し、自動的に方位計測表示に戻ります。

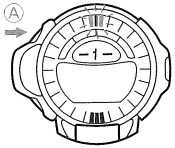
★方位補正で表示を点滅させたまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

●北方位補正のしかた

1 方位補正状態にする

方位・温度計測モードで

Ⓐボタンを約1秒間押します

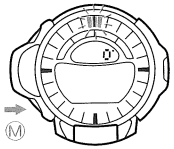


「2点補正状態」となり、“－1－”と表示されます。

2 北方位補正状態にする

2点補正状態のときに

Ⓜボタンを押します



「北方位補正状態」となり、“0°”と表示します。

3 北方位補正をする

本機の12時位置を「北」に向け

Ⓑボタンを押します



計測が正しく行なわれると“OK”と表示し、自動的に方位計測表示 に戻ります。

“ERR”表示となるときは

補正中に本機を動かしたときなど、異常値を検出したことを示します。
この場合は、最初から補正をやり直してください。

それでも、補正できないときは

補正を行なったときに“ERR”または異常値の検出表示（“－－－－”）となり補正できない場合は、近くに地磁気を著しく乱すものがある恐れがあります。このようなときは、場所を移動してからやり直してください。

★方位補正で表示を点滅させたまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

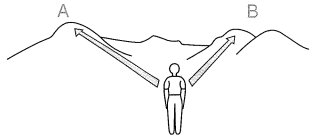
■ 方位計測機能の応用

●現在位置を知る

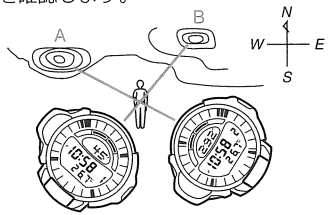
2つのはっきりとわかっている目標物を対象にして方位計測を行なえば、地図上のそれらの線の交点が現在位置となります。

※ あらかじめメモリー番号を選んでから計測を行なうと方位を記憶しますので便利です。（11ページ「方位メモリーのしかた」参照）

（1）2つの目標を定めて方位計測を行ない、メモリーします。



（2）メモリー内容を見ながら地図上で作図して、現在位置を確認します。

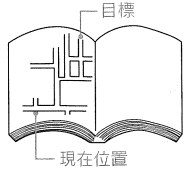


●目標（目的地）に向かって進む

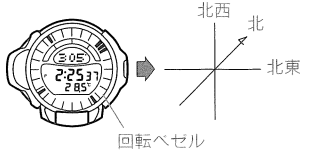
★目標が見えないとき

（1）地図を見て、目標の方位を調べます。

例：目標の方位が北東（NE）のとき



（2）本機で計測を行ない、回転ベゼルの北（N または ▼）と磁北マーク（▮▮）を合わせます。
そのときの回転ベゼルの示す方位から、目標の方位がわかります。
以後、ときどき方位を計測し、目標方向を確認しながら進みます。

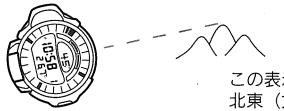


この表示では目標方向は本機の3時位置方向です。

★目標が見えるとき

本機の12時位置を目標に向けて方位を計測し、目標方向を読みます。

※ 磁北マーク（▮▮▮）に回転ベゼルの北（Nまたは▼）を合わせると他の方位もわかります。



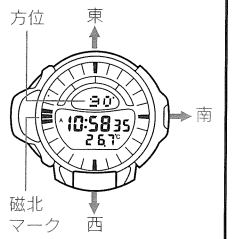
この表示では、目標方向は北東（方位：45°）です。

以後、目標物が見えなくなったときは、方位を計測し、目標方向を確認しながら進みます。

※ 方位の角度は、計測を行なったときの12時位置の方位と磁北との角度を示します。

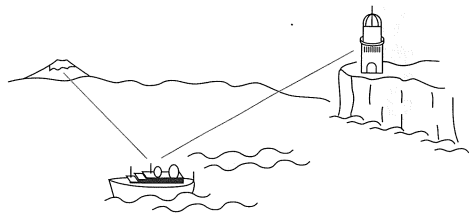
方位を計測すると、そのときの方位の角度に合わせて、磁北マーク（▮▮▮）および他の方位（東/西/南）マークがそれぞれ点灯します。

例えば、文字板の9時位置に磁北マークがあるときは、12時位置は北から90°の位置にあり、東の方向に向いているということになります。(右図)



●場所をおぼえる

海の真中のように、場所をおぼえる目印がないときは、遠くの2点以上の目印の見える方向を計測してメモリーしておくと、次回同じ方位に目印が見えるように戻れば同じ場所に戻ってこれます。



隠根のある釣場

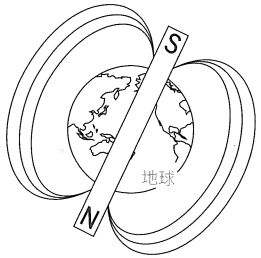
■より深く理解していただくために

●磁気コンパスについて

★「磁気コンパス」とは

地球は、北極と南極に極をもつ大きな磁石のようなもので、地球の持つ磁気を“地磁気”と呼びます。

本機は内蔵の電子式磁気センサーによりこの“地磁気”を検知し、方位を計測する「磁気コンパス」です。



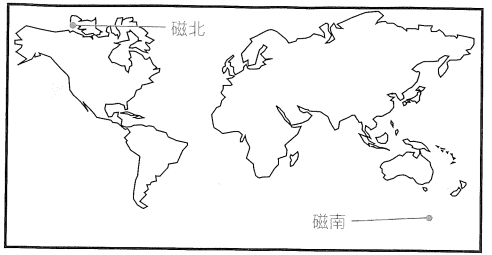
●磁気コンパスがさす「北」は

磁気コンパスが指す北（磁北と呼びます）と地球の真の北極（真北と呼びます）は一致していないため、磁気コンパスの指す北は、地球上の場所により東西のどちらかに片寄っています。

このズレを“偏差”と呼び、その角度を“偏角”と呼びます。

“磁北”の極はカナダの北側に、“磁南”の極はオーストラリアの南側に位置するため、それぞれの“磁極”に近いほど“偏角”が著しく大きくなるため、高緯度地方で使用する際は、ご注意ください。

なお、日本付近では約5度（鹿児島近辺）～約9度（北海道近辺）西に片寄っています。



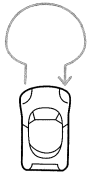
●自動車内の使用について

自動車内は車体が磁化している可能性があるため正確な方位を計測することができませんが、目安としてご使用になるときは、下記のように2点補正を行なってから計測してください。

※2点補正のしかたについては15ページを参照してください。

自動車の運転中に2点補正や方位計測を行なうと危険ですので、絶対に行なわないでください。

（1）まず、自動車を180度回転できる安全な場所に止めます。



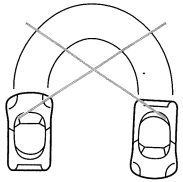
（2）計器やボディーから離れたところで2点補正状態にし、1回目の計測を行ないます。



（3）自動車ごと180度回転させ、2回目の計測を行なえば、補正完了です。

★方位補正時のご注意

- 2点補正の1回目と2回目の計測は、必ず同じ場所で行なってください。



- 磁気を発生するもの（計器、ボディーなど）からできるだけ離してください。
- 自動車の磁化の状態によっては、計測できないことがあります。
- 個々の車により磁化の状況が異なるため、それぞれの車ごとに2点補正を行なってください。
- 同じ車の中でも、車内での計測位置が変わった場合（助手席から後部座席へ、など）は、その都度2点補正を行なってください。

■おかしいと思ったときは

本機は針式のコンパスと同様に、磁気の不安定な場所や磁気の方向がずれている場所では、正確な計測はできません。
また、使い方を間違えると正確な計測ができないため、計測結果がおかしいと思ったときは、以下の内容を確認してください。

●方位表示が実際の方向とずれる

原因その1： 2点補正がされていない。

対処： 電池交換後はもちろん、こまめに2点補正を行なってください。

原因その2： 近くに強い磁気を発生する物体（もの）がある。

対処： 以下のようなものの近くでは計測できませんので、離れて計測を行なってください。

電気製品、大きな橋、鉄柱などの鉄でできた物体、電車の架線、電車や船などの乗り物

原因その3： 磁気が荒れている場所

対処： 計測場所を変えて計測してください。

●同一場所なのに、方位の角度が計測するたびにかわる

原因： 高圧線のそばなど磁気の状態が不安定である。

対処： 計測場所を変えて、再計測してください。

●異常値の検出（“－－－”）表示となる

原因： 近くに強い磁気を発生する物体がある。

対処： 計測場所を変えて再計測してください。

●室内で正確な計測ができない

原因： テレビ・パソコンなど、近くに磁気の方向を乱す物体がある。

対処： 計測場所をかえるか、室外に出てから再計測してください。特に鉄筋コンクリート造りでは、正確な計測はできません。

温度計測の使い方

温度計測機能は、内蔵の温度センサーが時計内部の温度を検出し、表示します。

■温度計測のしかた

温度計測は時刻モード、方位・温度計測モードのどちらでもできます。

※表示例は時刻モードで計測。



Ⓑボタンを押すと、約１秒後温度と方位（角度）表示します。

計測範囲：－10.0～60.0℃
計測単位：0.1℃

- 温度は方位・温度を表示しているときに、2分おきに自動計測されます。
- 計測した温度や方位をメモリーしたいときは、方位・温度計測モードで計測します。（11 ページ参照）
- 温度計測中にアラームなどの電子音が鳴ったときは、計測を中止しますのでもう一度Ⓑボタンを押してください。

■温度調整のしかた

本機の温度計は、工場出荷時に調整してありますので、本来温度の調整を行なう必要はありません。
正確な温度計があって、その温度に対して本機の表示が大きくずれている場合にのみ以下の操作にしたがい温度を調整してください。
誤った温度値をセットしてしまうと、温度計測が正しくできませんのでご注意ください。

《温度調整は、時刻モードで行ないます》

1 温度調整状態にする

方位・温度表示のとき

Ⓐボタンを約１秒間押します

温度が点滅します。



2 温度値を入力する

ⒷまたはⓁボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに0.1℃ずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに0.1℃ずつ戻ります。



※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りできます。
※ 調整できる範囲は－10.0～－60.0℃の間で、現在表示している温度（初期調整温度）に対して±9.9℃までです。

3 温度調整を終了する

Ⓐボタンを押します

点滅が止まり、方位・温度表示に戻ります。



★温度調整で表示を点滅させたまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

●誤って温度を調整したときは

温度調整状態で

Ⓑ・Ⓛボタンをいっしょに押します

工場出荷時に調整してある基準温度に戻ります。



異常計測防止機能

センサーの故障および接触不良、また、計測に悪影響を与える条件下（電池の消耗、－10℃よりも低温下で使用したことによる電池電圧の低下状態）での使用による正常な計測が行なえなくなった場合には、自動的に計測を停止し、下記の表示を行ないます。

●異常磁気を検出したとき

異常磁気を検出すると、方位の角度表示が“－－－”の点滅となります。
このような場合は、本機の近くに異常磁気が存在しているおそれがありますので、計測場所を移動してからやり直してください。



●下記の場所での計測はご注意ください。

- 金属（鉄、ニッケルなど）のそば
- 永久磁石のそば
- 高圧線のそば
- 家庭電化製品（冷蔵庫、洗濯機、テレビ、スピーカーなど）のそば
- 自動車や船舶等の乗り物の中

計測場所をかえても異常磁気検出表示となるときは、方位計測回路が故障しているおそれがあります。この場合は早めにカシオテクノ・サービスステーションにてチェックを受けてください。

●センサー故障など

“ERR”が点滅します。



センサー故障のときは、早めにカシオテクノ・サービスステーションにてチェックを受けてください。

●悪条件下など

“BAT”が点滅します。



※ 常温で使用しているときに“BAT”が表示されるときは、早めに電池交換されることをおすすめします。

一度“ERR”または“BAT”が表示されても、モードを切り替えた後、再び計測が正常に行える場合はそのままご使用になれます。
なお、低温下で使用した場合の“BAT”表示は常温に戻ると正常動作に戻りますが、電池が消耗していると思われますので電池交換などのチェックを受けてください。

ワールドタイムの使い方

時刻モードのときに、Ⓜボタンを２回押してワールドタイムモードにします。
ワールドタイムは世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。
また、各都市の月別平均気温を知ることもできます。（ワールドサーモ機能）

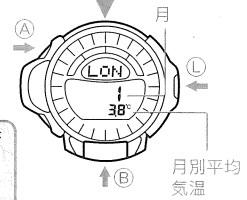
■ワールドタイムモードでのサーチ

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の標準時を表示します。

《ワールドタイム表示》



《ワールドサーモ表示》



都市コードが“GMT”および“－－－”（時差が“－1”、“－2”、“－11”）のときはワールドサーモ表示になりません。

●都市のサーチ

ワールドタイム表示で

Ⓑまたは Ⓛ ボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに都市コードが１つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。
※ 都市の表示される順番は、「ワールドタイム都市コード一覧」をご覧ください。

●月のサーチ

ワールドサーモ表示で

Ⓑまたは Ⓛ ボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに月が１つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。

■ワールドタイムの合わせ方

表示される29タイムゾーンのうち、1箇所の時刻を合わせると自動的にすべての都市の標準時がセットされます。
※ ワールドタイムモードで表示される「秒」は、時刻モードで表示される現在時刻の「秒」に連動しています。

1 セット都市をサーチする

ワールドタイム表示のときに

Ⓑまたは Ⓛボタンを押します



Ⓑボタンを押すごとに都市コードが1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りできます。

2 セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押します

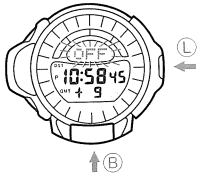


“DST” マークが点滅し、DSTオンのときは “DST” と表示され、オフのときは “OFF” と表示されます。

※ DST（サマータイム）については27ページの「サマータイムについて」をご覧ください。

3 点滅箇所をセットする

Ⓑまたは Ⓛボタンを押します



- DST（サマータイム）のオン／オフは、Ⓑボタンを押すと切り替わります。
- 「時」と「分」はⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。

- 時のセットのとき、午前(A)／午後(P)にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムの時刻も24時間制表示になります。

4 セット箇所を切り替える

Ⓜボタンを押します



Ⓜボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が以下の順に移動します。

DST オン/オフ → 時 → 分

Ⓜボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑ・Ⓛボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

5 セットを終了する

Ⓐボタンを押します



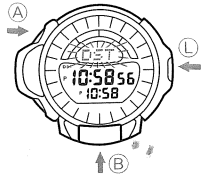
点滅が止まります。

★ワールドタイムのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■サマータイムの設定

サマータイムは各都市ごとに設定できます。
設定は26ページの「ワールドタイムの合わせ方」と同じ操作で行ないます。

① Ⓑ・Ⓛボタンで設定したい都市をサーチする
② Ⓐボタンで “DST” セット状態にする
③ Ⓑボタンでオン／オフを切り替える
④ Ⓐボタンでセットを終了させる



★サマータイムについて

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

■ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---	---	-11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	-10	パペーテ
ANC	アンカレジ	-9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、ダラス、メキシコシティ
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス
---	---	-2	
---	---	-1	アゾレス諸島
GMT		±0	〈グリニッジ標準時〉
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
JED	ジッダ	+3	クウェート
THR	テヘラン	+3.5	
MRU	モーリシャス	+4	ドバイ、アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	
SYD	シドニー	+10	グアム
NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※ この表は1997年12月現在作成のものです。
※ 時差はグリニッジ標準時（世界協定時：UTC）を基準としたものです。

■月別平均気温一覧

平均気温データは、気象庁発行「世界気候表」にもとづいています。

都市コード	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HNL	22.7	22.8	23.6	24.3	25.3	26.3	27.0	27.5	27.2	26.5	25.1	23.4
ANC	-9.5	-7.4	-3.5	2.1	8.1	12.5	14.6	13.3	9.1	1.4	-6.0	-8.7
LAX	13.9	14.8	14.9	16.4	18.2	20.2	23.0	24.0	22.6	20.5	16.9	13.9
DEN	-1.3	0.5	3.9	9.0	14.0	19.4	23.0	21.9	16.8	10.8	3.9	-0.7
CHI	-6.2	-3.1	3.0	9.4	15.5	21.0	23.6	22.8	18.6	11.9	5.0	-2.3
NYC	0.2	0.7	5.3	10.8	16.6	21.7	24.7	24.1	20.1	14.1	8.6	2.5
CCS	24.3	24.5	24.9	25.8	26.5	26.6	26.5	27.0	27.5	27.4	26.7	25.4
RIO	26.3	26.6	26.0	24.5	22.9	21.7	21.3	21.8	22.0	22.8	24.0	25.3
LON	3.8	4.0	5.8	8.0	11.3	14.4	16.5	16.2	13.8	10.8	6.7	4.7
PAR	3.5	4.2	6.6	9.5	13.2	16.3	18.4	18.0	15.3	11.4	6.7	4.2
CAI	13.9	15.3	17.7	21.6	24.8	27.7	28.0	27.9	26.5	23.9	19.3	15.1
JRS	8.3	9.2	11.6	15.5	19.2	21.9	22.9	23.1	21.8	19.5	14.8	10.1
JED	23.0	23.3	25.8	27.5	29.3	30.7	32.0	31.8	30.8	29.1	27.0	24.8
THR	3.1	5.6	10.2	16.1	22.0	27.2	30.0	28.8	25.1	18.6	11.4	5.7
MRU	26.1	26.1	25.8	24.8	23.2	21.7	21.0	20.8	21.3	22.4	23.8	25.2
KBL	-1.8	-0.3	6.6	13.3	17.8	23.0	25.1	24.4	20.0	13.7	6.7	1.2
KHI	18.1	20.5	24.5	28.4	30.5	31.3	30.2	29.0	29.0	27.8	23.9	19.6
DEL	14.2	16.9	22.4	28.7	32.4	33.5	30.9	29.7	29.2	26.2	20.6	15.5
DAC	18.4	21.7	25.9	28.2	28.5	28.6	29.5	28.7	28.7	27.9	24.2	19.9
RGN	25.1	26.3	28.7	30.2	29.3	27.4	26.9	27.0	27.4	27.5	27.1	24.7
BKK	26.5	28.1	29.4	30.5	29.8	29.3	28.9	28.7	28.4	28.2	27.4	26.1
HKG	15.8	15.9	18.5	22.1	25.9	27.8	28.8	28.4	27.6	25.2	21.4	17.6
TYO	5.2	5.6	8.5	14.1	18.6	21.7	25.2	27.1	23.2	17.6	12.6	7.9
ADL	21.8	21.9	20.0	16.9	14.0	11.7	10.9	11.7	13.4	15.7	18.2	20.1
SYD	22.6	22.7	21.4	18.8	15.7	13.1	12.2	13.2	15.5	18.0	19.7	21.7
NOU	25.5	25.7	25.3	23.8	22.1	20.8	19.6	19.7	20.5	22.0	23.4	24.7
WLG	16.3	16.5	15.4	13.4	11.2	9.5	8.6	8.9	10.2	11.5	13.1	15.0

アラームの使い方

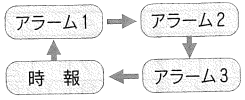
時刻モードのときに、Ⓜボタンを３回押してアラームモードにします。
アラームは１分単位でセットできます。アラームは３本あり、いずれも同じ使い方ができます。
また、毎正時（00分のとき）に電子音で時報をならすこともできます。

■アラーム時刻のセットのしかた

1 アラームを選ぶ

Ⓑボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとにアラームと時報が以下の順で切り替わります。





2 セット状態にする

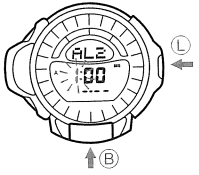
Ⓐボタンを約１秒間押します

“時”が点滅し、アラームオンマーク“))))”が表示されます。



3 点滅箇所をセットする

ⒷまたはⓁボタンを押します



- 点滅箇所がⒷボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに１つずつ戻ります。

※Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。

- 時のセットのとき、午前(A)／午後(P)にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

4 セット箇所を切り替える

Ⓜボタンを押します

Ⓜボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が以下の順に移動します。



時 → 分 → 月 → 日

Ⓜボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑ・Ⓛボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

5 セットを終了する

Ⓐボタンを押します

点滅が止まります。



★アラーム時刻のセットで表示を点滅させたまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

月日のセットによりアラームの鳴るタイミングが変わります。

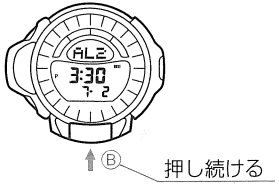
- 時・分のみセット
  ⇒毎日同じ時刻に鳴る
- 月・時・分のみセット
  ⇒指定月の毎日同じ時刻に鳴る
- 日・時・分のみセット
  ⇒毎月指定日の同じ時刻に鳴る
- 月・日・時・分すべてセット
  ⇒指定月日時刻に鳴る

●鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

■デモアラーム

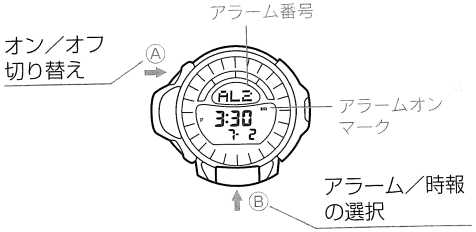
アラームモードでⒷボタンを押している間、アラーム音または時報音が鳴ります。



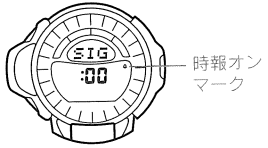
■アラーム・時報のオン／オフ

- アラームモードでⒷボタンを押して、オン／オフしたいアラーム表示または時報表示を選びます。
- Ⓐボタンを押すごとにアラームオンマーク（◗）または時報オンマーク（🔔）が点灯／不点灯して、オンとオフが切り替わります。

《アラーム表示》



《時報表示》

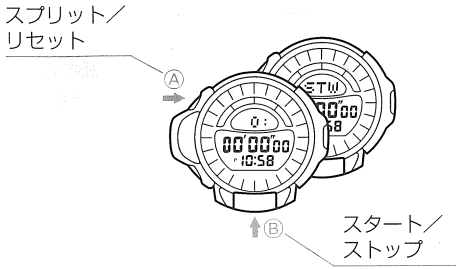


ストップウオッチの使い方

時刻モードのときに、Ⓜボタンを４回押してストップウオッチモードにします。
ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

■計測のしかた

- Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと0時間00分00秒00（リセット表示）になります。
- 計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム（途中経過時間）計測となります。



●通常の計測

Ⓑ → Ⓑ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

積算計測…
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

Ⓑ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●１着・２着同時計測

Ⓑ → Ⓐ → Ⓑ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　１着ゴール　２着ゴール　２着タイム表示　リセット
（１着タイム表示）

タイマーの使い方

時刻モードのときに、Ⓜボタンを５回押してタイマーモードにします。
タイマーは秒単位で24時間までセットでき、セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■タイマー時間のセットのしかた

1 セット状態にする

Ⓐボタンを約１秒間押します

“時”が点滅します。



2 点滅箇所をセットする

Ⓑボタンを押します



- 点滅箇所がⒷボタンを押すごとに１つずつ進みます。

※Ⓑボタンは押し続けると早送りができます。

3 セット箇所を切り替える

Ⓜボタンを押します

Ⓜボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が以下の順に移動します。

時 → 分 → 秒



Ⓜボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

※ 24時間をセットするときは“0:00 00”に合わせます。

4 セットを終了する

Ⓐボタンを押します

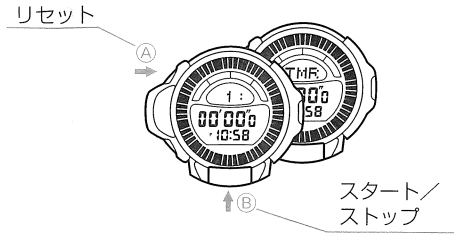
点滅が止まります。



★タイマー時間のセットで表示を点滅させたまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

■計測のしかた

- Ⓑボタンを押すごとにスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと、計測前の時間に戻ります。（リセット）



※ ロスタイムがあるときは、計測中にⒷボタンを押してストップ後、もう一度Ⓑボタンを押します。

■タイマー方法を選ぶ

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にセット時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。

- タイマーモードでⒶボタンを押して、セット状態（点滅表示）にします。
- Ⓛボタンを押すごとにリピートタイマー／オートリピートタイマー（グラフ表示が点灯）が切り替わります。



※ オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のときは、タイムアップ音は１秒間だけ鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻・カレンダー合わせは時刻モードの「カレンダー表示」のときに行ないます。

■秒の合わせ方　～30秒以内の遅れ／進みの修正～

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1　セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押します



“秒”が点滅します。

2　秒を合わせる

時報に合わせて

Ⓑボタンを押します



秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
※ 時報は「時報サービス　電話117番」が便利です。

3　セットを終了する

Ⓐボタンを押します



点滅が止まります。

★秒合わせのときに表示を点滅させたまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1　セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押します



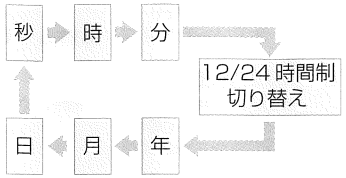
“秒”が点滅します。

2　セット箇所を切り替える

Ⓜボタンを押します



Ⓜボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が以下の順に移動します。



3　点滅箇所をセットする

ⒷまたはⓁボタンを押します



- 「時」「分」「年」「月」「日」のときは、点滅箇所がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
  ※ Ⓑ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。
- 12/24時間制切り替えは、Ⓑボタンを押すと切り替わります。
- 時のセットのとき、午前(A)／午後(P)および24時間制にご注意ください。
- 曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

Ⓜボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑ・Ⓛボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

4 セットを終了する

Ⓐボタンを押します



点滅が止まります。

- 「年」は西暦で1995～2039年までセットできます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

★時刻・カレンダーのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数： 32,768Hz
精　　度： 平均月差±15秒以内
基本機能： 月・日・曜日・時・分・秒・午前(A)／午後(P)／24時間制表示
フルオートカレンダー(1995～2039年)
方位計測機能： 方位の角度表示・グラフ表示
方位角度計測範囲＝0°～359°
計測精度＝±10°以内
(精度保証温度範囲＝10～40℃)
メモリー（5本）機能、補正機能付
温度計測機能： 計測範囲＝－10℃～60℃
計測単位＝0.1℃
計測精度＝±2℃以内
(精度保証温度範囲＝－10～60℃)
温度調整機能付
ワールドタイム機能： 27都市29タイムゾーン
時、分、秒（秒は基本時刻と連動）
サマータイム切り替え機能、ワールドサーモ（月別平均気温表示）機能
アラーム機能： 時刻アラーム3本　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
ストップウオッチ機能： 計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、減算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測
タイマー機能： 計測単位＝1/10秒　計測範囲＝24時間
セット単位＝1秒
計測機能＝通常計測、ロスタイム計測
タイムアップ電子音＝10秒間
リピート／オートリピート切り替え
セット機能： 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能
その他： 自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切り替え、ELバックライト、ELオートライト
主要回路素子： 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI、方位センサー、半導体温度センサー
使用電池： SR-927W×2個（電池別途販売）
電池寿命： 約18ヶ月
（1日あたり
ライト2秒、電子音20秒、方位計測
3回、温度計測33回使用した場合）

※ライトの使用回数および方位計測回数により、電池寿命が短くなります。

上記ライト使用が10秒／1日の場合
約12ヶ月

上記方位計測が5回／1日の場合
約16ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

●**表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●**表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
●低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。
●低温下でアラームを使用すると表示が見えにくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

●時計機能に影響はありませんが、本機自体が磁気を帯びますと、オートライトが作動しにくくなったり、方位計測機能に影響を与えますのでご注意ください。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用としているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■センサーについて

本機のセンサーは、精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでつついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水で泳いだときには必ず真水で洗い流してください。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」

●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「各種センサーが使用できなくなったり」「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。